

知ろう！ 守ろう！



アクアプラザ
遊水地版

沼津の生きもの



浮島ヶ原には、特有の湿地性植物や水生生物が生育・生息しています。中でも「アクアプラザ遊水地」は湧き出した地下水を水路にして、昔からの湿原環境が守られています。四季を通じて出会える様々な生きものをそっと観察してみましょう。

いろいろな生きものがお互いにつながり合っていることで、自然の恵みを受けることができるんだよ。

人が自然をこわしたり、ほったらかしにしていると、生きものがすみづらくなっちゃうよ。



エコばっくん



環境イメージキャラクター
沼環ミライちゃん

大切に守ろう サワトラノオ



花期：4～5月

静岡県版レッドリスト：絶滅危惧 I B類
サワトラノオ (サクラソウ科)

大変希少な植物で、静岡県では、浮島ヶ原（沼津市と富士市）にしか自生していません。アクアプラザ遊水地では秋から冬にかけて、ヨシ原の草刈がされ、春にサワトラノオの自生地が日光が届くため、数が増えているようです。里地里山では草刈や下草焼きなどが人が管理をすることで守られる自然もあります。

持ち込まない！ 「外来生物」
持ち出さない！

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。中でも、生態系等に被害を及ぼすため特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。最近では、日本に昔からすんでいたメダカがあまり見られなくなっていますが、これはカダヤシなどの外来生物にエサやすみかをうばわれてしまったことが原因の一つという説もあります。生きものを外から持ち込んだり、持ち出したりすることはやめましょう。



カダヤシ (カダヤシ科)



アカボシゴマダラ (タテハチョウ科)



ウシガエル (アカガエル科)



オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科)



ミシシッピアカミミガメ (ヌマガメ科)
通称：ミドリガメ



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

観察時の注意

- 子どもだけで行かない ... 危険な場所もあるので大人といっしょに行きましょう。
- 池や湿地に入らない ... 急にふかくなっていたり、泥に足をとられたりして大変危険です。
- むやみに触らない ... ヘビやハチなど人に危害を加える生きものもいます。見つけても触らないようにしましょう。
- 持ち帰らない、持ち込まない ... 希少な生きものの生育場所です。そのままの環境を守りましょう。むやみに生きものを持ち帰ったり、持ち込んだりしないでください。
- 肌を露出しない ... 長そで長ズボン、歩きやすいクツ、頭には帽子をかぶりましょう。



Proud NUMAZU
～気づく環境・築く未来～

2022年3月 沼津市 環境政策課 Tel:055-934-4741

編集・デザイン：東海プラント分析センター株式会社 写真提供：渡邊 修治 小倉 辰彦



アクアプラザ遊水地でくらす生きものを探してみよう！

みつけた生きものに をしてね。
どんな生きものなのかを後でしらべてみよう。



植物

湿地帯の浮島ヶ原には、全国的にも貴重な湿地性植物が多く見られます。



花期：5～9月
ナヨナヨスレナグサ (ムラサキ科)



花期：5～9月
コマツナギ (マメ科)



花期：6～8月
クサレダマ (サクラソウ科)



花期：4～5月
ノウルシ (トウダイグサ科)



花期：6～10月
コウホネ (スイレン科)



花期：6～8月
ヒメナミキ (シソ科)



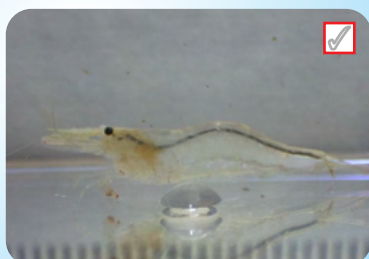
花期：6～7月
ネムノキ (マメ科)



花期：7～8月
ヌマトラノオ (サクラソウ科)

水生生物

池、水路、沼、湿地など様々な水辺の環境があり、生息している生きものも違ってきます。



ミズレヌマエビ (ヌマエビ科)



ミナミテナガエビ (テナガエビ科)



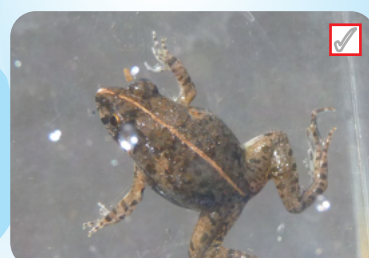
モクズガニ (イワガニ科)



スミウキゴリ (ハゼ科)



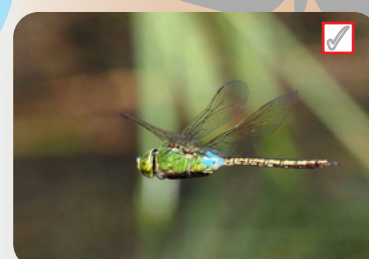
クサガメ (イシガメ科)



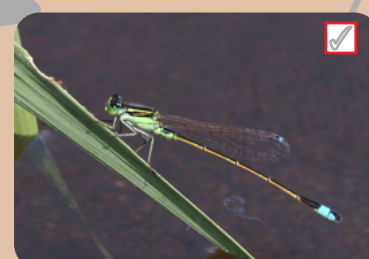
ヌマガエル (ヌマガエル科)

昆虫

春から秋にかけて、様々な昆虫を見ることができます。中でもトンボの仲間が多く生息しています。



ギンヤンマ (ヤンマ科)



アオモイイトンボ (イトンボ科)



コフキトンボ (トンボ科)



ツマグロヒヨウモン (タテハチョウ科)



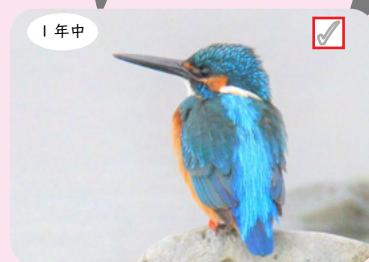
チョウトンボ (トンボ科)



ヒメガムシ (ガムシ科)

鳥類

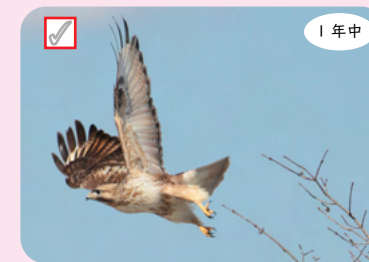
ヨシ原と沼地の湿地環境と、周囲には水田や水路、乾燥した草地などの多様な環境があるため、1年を通して様々な鳥類が利用しています。また、渡りをする鳥も多く飛来します。



1年中
カワセミ (カワセミ科)



1年中
アオサギ (サギ科)



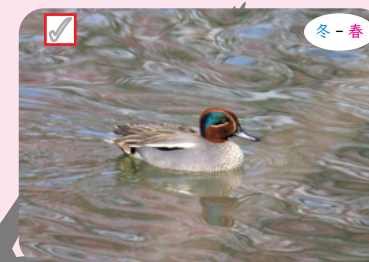
1年中
ノスリ (タカ科)



1年中
ケリ (チドリ科)



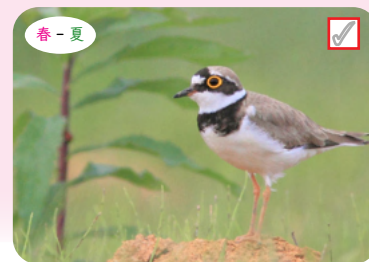
春-夏
オオヨシキリ (ヨシキリ科)



冬-春
コガモ (カモ科)



1年中
ダイサギ (サギ科)



春-夏
コチドリ (チドリ科)



冬-春
オオバン (クイナ科)

PICK-UP!

静岡県版レッドリスト 要注目種
ミツガシワ (ミツガシワ科)



池や沼の岸辺の湿地に生える抽水植物です。きれいな水でしか育ちません。約200万年前の氷河期からの生き残りと言われています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧
ナガオカモノアラガイ (オカモノアラガイ科)

湿地の水際や植物の葉の上で暮らしています。浮島ヶ原ではたくさん生息していますが、全国的に数が減っています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧
オオタカ (タカ科)



全長50cm程のタカの仲間、狩場としてアクアプラザ遊水地を利用しています。ハトなどの他の鳥を襲って食べます。



約1cm